

静岡大学大学院情報学領域教員公募要項

募集人員	助教 1 名（年俸制）
任期	なし
所属	大学院情報学領域情報社会学系列
主担当	情報学部・大学院総合科学技術研究科情報学専攻
着任時期	令和 6 年 4 月 1 日
専門分野	英語、文化・コミュニケーション
担当科目	専門科目（学部）：メディア・リテラシー、メディア・コミュニケーション論、英語科目など 専門科目（大学院）：コミュニケーション論など 全学教育科目：新生セミナー、教養領域科目、学際領域科目など

応募資格

- (1) 博士の学位（取得見込みを含む）またはそれと同等の業績を有すること。
- (2) 英語圏の、文化あるいはコミュニケーションに関する研究を行っていること。
- (3) 情報学に関係する研究を行っていること、あるいは情報学を踏まえた研究を行う意思があること。
- (4) 英語科目を担当できること。
- (5) 英語で専門科目の講義が行えること。
- (6) 委員会活動等、学部運営に積極的に関わることができること。
- (7) 日本語が母語でない場合は、職務の遂行に必要な日本語運用能力を有すること。
- (8) 静岡大学浜松キャンパス（勤務予定地）に、日常的な通勤が可能なこと。

選考方法

- (1) 書類審査後、適格と判断された応募者に対して、原則として対面の面接を主に日本語で行います（面接のために要する旅費は自己負担になります）。面接では、日本語により教育・研究・運営・社会貢献に関する抱負の説明及びメディア・コミュニケーション論の模擬授業を行っていただいた後、日本語と英語による質疑応答を実施します。
- (2) 男女共同参画を推進する「静岡大学男女共同参画憲章」を重視し、評価が同等の場合は女性の候補者を優先する選考を行います。
- (3) 国際化の進展を図るため、評価が同等の場合は教育・運營業務の遂行が可能な日本語能力を有する外国人あるいは外国で学位を取得した方を優先する選考を行います。

応募書類

- (1) 履歴書
- (2) 研究業績一覧（主要な研究業績のうち 5 点以内に○印をつけ、当該業績について、各 200 字程度の概要を記してください。学術論文、国際会議論文、口頭発表に関して

は査読の有無を記してください)

- (3) 上記○印をつけた主要研究業績
- (4) 教育・研究・運営・社会貢献に関する抱負（あわせて2,000字程度。情報学部の教育内容に留意して日本語で記述してください）
- (5) 応募者に関する所見を求め得る2名の方の氏名、所属、メールアドレス

- ※ 上記(1)～(5)のPDFファイルを保存したUSBメモリを提出してください。その際、(1)、(2)、(4)、(5)のファイルは暗号化のうえ提出してください。(3)は暗号化不要です。また、復号用のパスワードを別途問い合わせ先にメールで通知してください。
- ※ 上記(3)に関して、単著の書籍の場合は、書籍自体をお送りいただいても結構です。

応募期限 令和5年11月7日（火）必着

書類送付先 〒432-8011 浜松市中区城北3丁目5-1 静岡大学大学院情報学領域長 宛

- ※ 封筒に「情報学領域（英語、文化・コミュニケーション）教員応募書類」と朱書き、簡易書留で郵送すること。応募書類（USBメモリ、書籍等）は原則として返却しませんが、返却を希望する場合は、返信用封筒を切手貼付の上、同封してください。

問い合わせ先 〒432-8011 浜松市中区城北3丁目5-1

静岡大学大学院情報学領域情報社会学系列 教授 原田伸一郎

E-mail: harata[at]inf.shizuoka.ac.jp ※[at]は@に変えてください

その他

- (1) 本学部の構成・教育・研究の内容等については、以下の学部ホームページをご覧ください。<https://www.inf.shizuoka.ac.jp/>
- (2) 研究業績の審査において、産前、産後休暇又は育児休業取得による研究中断期間がある場合には、応募者の申し出により考慮します。
- (3) 給与（年俸制）と各種手当（扶養手当、管理職等手当、住居手当、通勤手当、特殊勤務手当、時間外労働手当、深夜労働手当等）は、静岡大学の給与規程に基づき支給されます。静岡大学の給与規程は下記サイトをご覧ください。
<https://www.shizuoka.ac.jp/outline/info/kokai/index.html>
- (4) <静岡大学における男女共同参画の推進>
静岡大学は男女共同参画を推進しており、女性の積極的な応募を歓迎します。本学では、子育てや介護に関して様々な支援制度を設けております。詳細は男女共同参画推進室 Web サイト (<https://www.sankaku.shizuoka.ac.jp/>) をご覧いただくか、男女共同参画推進室 (takenoko@adb.shizuoka.ac.jp) までお問合せください。
- (5) 本領域では、若手研究者の育成を重視し、これから新たな研究の開拓を目指す、将来性のある研究者の応募を期待します。

以上